

安全のしおり



令和8年8月1日
通算第369号
安全・適正就業委員会

【安全は 無理せず焦らず 油断せず】・【草刈機 飛ばす小石は 危険球】

■ 熱中症や気象災害に警戒

これから熱中症に警戒が必要な時期に入ります。今夏は6月からすでに気温の上昇が見られ、7月から8月にかけて全国的に厳しい暑さのピークを迎える見込みとの報道があります。また、7～9月は厳しい暑さに加え、台風やゲリラ豪雨にも注意が必要です。

夏の気象災害に対するリスクや危険性を知り、日頃から予防・対策を意識しましょう。

熱中症対策

熱中症予防には水分補給と暑さを避けることが大切です。喉が渴いていなくても水分補給はこまめに行う、気温や熱中症警戒アラート等の現在の状況を把握する、通気性のいい服装、エアコン・扇風機の利用など対策を行い、熱中症を予防しましょう、

また熱中症を予防するためには、暑さに負けない体作りが大切です。日常的に適度な運動を行い、適切な食事、十分な睡眠をとるようにしましょう。

危険な暑さが続いています。複数人で作業する場合、お互い気を配り、声を掛け合いながら作業しましょう。一人就業の場合は無理をせず、熱中症と疑われる症状が生じた場合は速やかに作業を停止し、応急処置を講じるとともに、必要に応じて救急隊を要請するなど対応をお願いいたします。

ゲリラ豪雨対策

ゲリラ豪雨は主に7～9月の夏季に多発し、特に午後～夕方がピーク傾向にあります。突発的に降るため現在の気象予測技術でもピンポイントでの発生予測は難しいとされています。

ゲリラ豪雨の前兆

- ・ 巨大な積乱雲の発生が見える。
- ・ 雷の音が聞こえてきた、稲光が見えた
- ・ 突然空が暗くなる。
- ・ 急に冷たい風が吹いてきた

ゲリラ豪雨が発生したら まず安全確保

- ・ 屋外にいる場合は、すぐに安全な建物に避難し、窓から離れた場所で待機
- ・ 地下にいる場合は地上（屋内）へ移動
- ・ アンダーパスは冠水しやすいため通行しない

屋外での就業や自転車・徒歩での往復途中の場合、すぐに安全な建物に避難してください。車の運転中に遭遇した場合、激しい雨で前が見えなくなってしまうことがありますので、ゆっくり速度を落とし、ヘッドライトやハザードランプを使用して自車の存在を知らせ、周囲の状況を確認しながら慎重に運転しましょう。

■ 事故状況について

7月21現在、傷害事故1件、賠償事故1件の計2件の事故が発生しております。事故については作業中に足首を痛めた、刈払機使用中に小石を飛散させて窓ガラス破損といった内容です。作業前点検、安全保護具の着用や事故対策用具の使用、作業中においては無理をせず落ち着いて作業するようにしてください。現在、小中学校施設管理業務の刈払機使用時の防護ネットを準備しております。大変遅くなり、申し訳ございません。用意ができ次第、順次配付いたします。

引き続き、飛び石事故を起こさないという視点で安全や事故防止を最優先に就業をお願いいたします。

令和8年7月現在

令和8年度		令和7年度 (同月比)	
傷害	1件	傷害	2件
	就業中 1件 就業途上 0件		就業中 2件 就業途上 0件
賠償	1件	賠償	0件
合計	2件	合計	2件